

038PRESS

vol.04



『桜川・北六番丁その昔』

今季の特集
P2~P3

震災を記録する子どもたち ~ 東六小・学校支援地域本部のかかわり ~

P4……東六地区の「小さな握り飯」

P5……第4回お宮町なるほどツアー

P7……教えて浄圓房さん／東照宮春祭り

P4……Dr. コラム 八丁目 直寛先生

P6……第6回東六小の桜と音楽を愛でる会

P8……学校行事予定／編集後記



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-8701 仙台市青葉区役所 まちづくり推進課内
TEL 022-225-7211(代) E-mail ohmiyamachi@gmail.com

お！宮町地域情報編集局ホームページ
2012年公開
宮町商店街ホームページ <http://omiyamachi.com/>

震災を記録する子どもたち

東六小・学校支援地域本部のかかわり



鹿野恵美子さん
東六小・学校支援地域本部スーパーバイザー

「学校支援地域本部を知っていますか」

学校支援地域本部は、「地域と共に歩む学校づくり」を目指した取り組みです。文部科学省が推進する学校支援地域本部事業は、子どもたちがいろいろな人とのかかわり、豊かな学びとなるためにつくられた『学校の応援隊』で、東六小は平成20年12月に仙台市内のモデル学校として榴岡小、西中田小とともに最初に立ち上がりました。地域の方々のお力を学校教育に生かし、子どもたちにとって安心感をもち、充実した学びとなるよう様々なサポートを行っております。いわば学校と地域をつなぐパイプ役を学校支援地域本部事務局が担っています。

東六小の学校支援地域本部では授業時に子どもたちの様子を見守るサポーターを集めたり、地域の情報を集めて学校の活動に生かしたりしています。またゲストティーチャー（外部講師）の紹介や招へいのための連絡なども行っています。



東六番丁小学校



東六小支援本部だより



仙台放送寺田アナウンサーを迎えて



宮町・よか〇ラーメンさんを取材

平成23年度、東六番丁小学校の高学年では、総合学習の時間に仙台市の復興プロジェクトに重ねて震災を取り上げ、調べ学習をしてきました。今回、震災に向き合った2クラスの子どもたちの学習を支援本部の活動とともにご紹介いたします。

「震災に学ぶ」

「これからのわたしたち」／6年1組

明るく和気あいあいで、6年生らしいまとまりのある32人のクラス。地震の時は5年生。ちょうど6校時目で、習字などの授業中でした。

6年に進級し、震災について新聞記事などと格闘しながら学んできた子どもたち。半年ほどかけて復興や再生に向けて取り組んでいる人の言葉や姿、人のために行動する理由を調べていました。晩秋になり、「自分のクラスの児童が『仙台学』という雑誌の中の一人のアナウンサーの記事に目を留め、会って話を聞きたがっています。そのほかにも子どもたちが関心を持っている人たちと交流したいのですが」と担任の先生から熱意のこもった依頼がありました。子どもたちの希望は、実際に被災された方、地域防災関係者、医療

関係者、報道関係者、電力会社、被災ボランティア、農業従事者、そしてきっかけになったアナウンサーです。私は「震災と向き合うひたむきな子どもたちの学びのために」との思いで人を探し、計9人のゲストティーチャーにお願いをしたところ、みなさん無償で快諾してくださったのです。ただし一度に呼び出すことができず日替わりで、それぞれが震災の体験をしたからこそ発せられる言葉や思いを伺い、質問とともに授業を進めることになりました。

ゲストティーチャー 児童の願いと思いそれぞれ

1〜2時間かけてのグループワーク。ゲストティーチャーのみなさんからは「日本人として持っている秩序・協調・不屈の魂を受け継いで、困っている人を助けてほしい」「みんながしっかりと考えることが大事」「助け合って乗り越えた」「震災を忘れないでほしいし、調べ続けてほしい」「相手に寄り添った支援をしよう」といったお話を伺いました。子どもたちは被災地の被害状況や今後の目標などを質問していました。話

東六小・学校支援地域本部では、習字、校内清掃、昔遊びなど、いろいろな場面で地域の皆様のお力をお借りできたと考えています。興味のある方はぜひサポーターとして活動してみませんか？

《お問い合わせ》東六番丁小学校 TEL 022-222-4216

を聞いた子どもたちは、「地域の私たちの自主的な避難所運営に感動した」「避難や備蓄について家族と話し合いたい」「まだまだ節電節水」「きちんとした情報が必要。自分にできることを見つけたい」と話し、これからの復興に向けて「誰かのために働ける大人になる」「あきらめない」「地域にとけこみ、あいさつ運動やゴミ拾い活動を広げたい」など、それぞれが掲げる目標を見つけたように感じました。

「みんなで生きていく」

～ぼくたちの3.11～／5年2組

男女の別なく友達とかかわり、好奇心旺盛で思いやりのある元気な5年2組。彼らもまた、学校で地震に遭いました。

震災を学習として取り上げることになったとき、担任の先生は「子どもたちには大震災をテレビの中の出来事と思ってほしくない。地域の震災を学ぶことで同じ被災者の立場でとらえてほしい」という思いがあったそうです。あくまで東六という地域に限定し、他者のために行動した人々の心情や地域への思いに触れ、取材を通してまとめたものをフ

リーパーパーにして後世に残したいというゴールに向かって、子どもたちとともに進めています。

東六小避難所を通して 見えてきた地域

東日本大震災の時、東六小には1800人もの避難者が押し寄せて来ました。この時の避難所運営については、038プレス秋号にてすでにご存知かと思います。学校職員をはじめ連合町内会による「おもてなしの心」での対応、またその様子が毎日新聞社を介して「小さな握り飯」(関連記事P4掲載)という記事になったこと。避難所での炊き出し。宮町商店街の人々の震災後の活動や苦労。町が平常に戻るまでにどのような人たちがどんなことをしていたか…。このような事実を子どもたちが知ったのは、学習していく中で震災を「自分ごと」としてとらえてからのことです。

まず、「小さな握り飯」を読んで、記事に登場した渡部校長、海老連合町内会長、佐藤宮町商店街振興組合理事長のお三方をお招きし、避難所での先生方の動き、東六地区の状況、お店のできごとなど、それぞ

れの立場から感じた震災を語っていただきました。子どもたちは東六地区に協力と助け合いがあったことを知り、他人のために行動した人のことを知りたいと思いました。毎日新聞社三岡仙台支局長のお力を借りて取材構想を練り、グループに分かれてお店や、避難所の運営に協力した主婦に会いに出かけたり、先生や避難所学生ボランティアさんに取材したりすることになりました。あるグループは、震災後沿岸部で炊き出しを行った宮町のラーメン店に行くというので、同行いたしました。

「津波で濡れた体のまま宮町まで来て、震災後はじめて温かいものを口にし、涙を流して食べていたお客さんを見ていたら、炊き出しに行くことしか考えられなかった。お客さんの善意で提供することができた」と語るご主人に、取材後子どもたちは、「この地域には優しい人がたくさん住んでいて、お店の人もあったかくて優しい」と感想を話してくれました。

「一人ひとりの さまざまな学び」

23年度、震災の学習をはじめ、福祉、英語などにおいてたくさんの方のゲストティーチャーをお招きいたしました。その道を極めているゲストティーチャーから生き方を学ぶことは、世間とのつながりが薄いと言われる今の子どもたちにとって、貴重な経験だと思います。子どもたちや先生の思い・熱意を無駄にしたくない、きつと何かを感じ取ってくれるはずとの思いで依頼し、ゲストの皆様もまた「私でよければ」と快くボランティアで引き受けてくださいました。震災前とほぼ同じ環境を取り戻している東六地区。安心してつづある私たち大人。でも子どもたちは大人の想像以上に自分の行動について、未来について考えています。将来この子どもたちはきつと仙台を、宮町を今まで以上に繁栄させてくれるはず。真摯(しんし)に向き合った先生方と子どもたちにあたたためて感激し、またたくさんのゲストティーチャーの皆様に感謝いたします。

6年生に語ったアナウンサーの「復興を担う中心になるのはあなたがたです。どうか伝え続けてください」という思いに、様々な学びを受けた彼らは、きつと応えてくれることでしよう。

東六地区の 小さな握り飯



毎日新聞政治部編集委員
(元仙台支局長)
三岡昭博
(038press 編集委員)

昨年、震災をテーマにしたNPOの講演を聞いていて、驚いたことがあります。

「避難所に備蓄している非常食は1500食。避難者は2000人。みなさんならどうしますか」

講師がそう問いかけてました。当然、みんなで分け合うのだと思いましたが、何と「全員に行き渡らない」との理由で、すべて捨ててしまった事例があるというのです。

阪神・淡路大震災でのことだそうです。そして、昨年の東日本大震災でも食料の分配は大きな問題となりました。避難者に比べて備蓄食が少ない時、大きく分けて三つの対応が考えられます。

- ① 行き渡る分だけ配る（食料をもらえない人が出てくる）
- ② それでは不公平なので、全員が用意できるまで配らない
- ③ 量を減らして全員に配る

先に挙げた阪神・淡路の例は②の变形ですが、おそらく三つのうちで誰も

が納得するのは③ではないでしょうか。でも、瞬時に実践するのは案外難しいのかもしれない。

決められたこと（1人分）を決められた通り（1人ずつ）実行する（配る）ことには慣れていても、そこからはみ出すには柔軟な発想とリーダーシップが必要だからです。「あること」が当たり前で、日常的に分け合う習慣がない今の時代ではなおさらでしょう。

そんな中でのことです。昨年の震災時、ここ東六地区の避難所・東六番丁小学校では何のためらいもなく③、すなわち「少ない食料を直ちにみんなに分け合う」行動が取られたのです。

それを知り、私は昨年8月「小さな握り飯」という連載記事（計10回）を書きました。渡部校長のユーモアとリーダーシップ、それを支える海老一朗東六番丁連合町内会長の知恵、人間力。2人の周辺での緩やかな人と人とのつながり。それらが有機的に働いて理想に近い避難所運営ができた、というのが結論です。取材を通して、いざ事が起きた時の「地域」の大切さも学びました。



東六小に避難する人々

震災が教えてくれたこと

東日本大震災では、津波被害を受けたなかった地域でもライフラインが寸断され、場所によってはガスの復旧に1カ月を要しました。当たり前にあるものが突然なくなってしまう。それは確かに不便でしたが、震災後多くの人が「無いがゆえのユーフォリア（幸福感）」のようなものを感じていたのではないのでしょうか。

私自身もガスがくるまで、電気ボットで沸かしたお湯を水で薄めて頭や体を洗いました。「いかに無駄なく湯を使うか」を考え、上達すると小さな喜びを感じたものです。普段は付き合っていない近所同士が声を掛け合い、情報を交換したのもガスやガソリンがなく、テレビCMが公共広告機構（A.C）一色だった1カ月の間だったように思います。

もしかすると、私たちは「ある」という状態が増えるにつれ、幸せと感じる量と範囲を減らしているのかもしれない。そして、巨額の財政赤字や長期のデフレが示すように、日本では「ある」を増やす努力が経済成長は限界に近づきつつあるようです。

もちろん、その努力はこれからも続くでしょう。しかし、拡大を意味する「ある」の追求とは異なる価値観があること、それは遠くに向けていた視線を自分の足元である「地域」にも向けることであることを、多くの犠牲とともに東日本大震災は教えてくれたように思います。

Dr. コラム



八丁目皮膚科クリニック

院長 皮膚科専門医
八丁目 直寛 先生
経歴 弘前大学医学部卒業
東北大学皮膚科教官
住所 仙台市青葉区錦町 2-1-48
電話 022-223-1795

児童によくみられる感染性の皮膚病
新入学新学期を迎えるこの機会に、児童によくみられる感染性の皮膚病について知って頂きたいと思います。

【いぼ】

いぼウイルスの接触感染。手足によくみられる。特に足の裏は、「魚の目」と間違えて放置しがちなので注意。液体窒素による治療。

【水いぼ】

水いぼウイルスの接触感染。プールで人から人へ移り易いので注意。小さな粒粒のいぼが体のあちこちに増える。1年位で自然に消えるが、できれば数の少ないうちに取った方がよい。

【手足口病】

ウイルスの飛沫経口感染。手のひら、足の裏、口内に小さな水ぼうしが出る。通常2週間ほどで治るが、時に発熱下痢を伴って、皮疹も拡大することがある。感染予防に手洗いを忘れずに。

【伝染性紅斑（りんご病）】

ウイルスの飛沫経気道感染。両頬や四肢にりんごのようなレース状の赤い斑点。2

週間位で自然に消えるが、時に軽い風邪のような症状を伴う。妊婦の感染は要注意。

【とびひ】

湿疹、虫さされの掻き傷に細菌感染を起こしてできる。水ぶくれやただれから出る汁に触れてうつる。病院でジクジクを乾かす処置が必要。

【たむし】

白癬菌（はくせんきん）というカビの接触感染。顔、首、腕に1円玉程の赤い斑点が出る場合はペット（猫、犬）からの感染が疑われる。ペットの毛が抜けて赤くなっているか確かめるとよい。カビの塗り薬で治療。

【頭じらみ】

頭髮と頭髮が接触することにより感染。しらみは、ふけに似た卵を髪の毛に産み付ける。それが頭髮の中で成虫となり血を吸うことでかゆみが出る。学校で流行することがあるので、皆で注意が必要。スミスリンシャンプーで治療。

以上、気になることがあれば皮膚科専門医（発熱下痢を伴う場合は小児科）を受診してください。

第4回 お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅



「小粋なカフェルーム etoile (エトワール)」

昨年9月、中野釣具店の隣にオープンの小粋なカフェ。オーナーの石橋さんは、仙台ホテルで19年間腕を磨いた後、ここ宮町に店を開いた。

お店のイチオシは、丁寧に作られた「キッシュ」。外側のタルト生地のサクサク感とクリーミーでしっとりとした具が絶妙な味わいを醸し出す。ケーキ類も人気で、スイーツ目当てに1人で来店する女性客も多いとか。勿論コーヒー豆にもこだわっており、ランチに付くコーヒーは、料理に合わせて豆を選ぶというから、手抜きがないサービスが自慢の店だ。＜コーヒー、マフィンがテイクアウトができる＞

住所／宮町1丁目4-12 TEL／090-9426-6367
営業時間／10時～21時 定休日／水曜日



「昔ながらの正統派ラーメン 東洋軒」

「ラーメン」を注文した。これぞ懐かしの正統派ラーメン、醤油の風味とコクを生かした逸品。値段も10年以上価格据え置きで500円。その他のメニューも充実していて、編集部のお勧めは「カレーライス」。ラーメンのスープが入ったカレーには、独特のうまみがあるという。

宮町通りに暖簾を出して65年。早坂さん夫婦に加え看板娘(?)のおばあちゃん(82)も健在で、昔ながらの東洋軒の味を頑固に守り続けている。

住所／宮町2丁目3-1 TEL／022-223-1371
営業時間／11時～22時 定休日／不定休

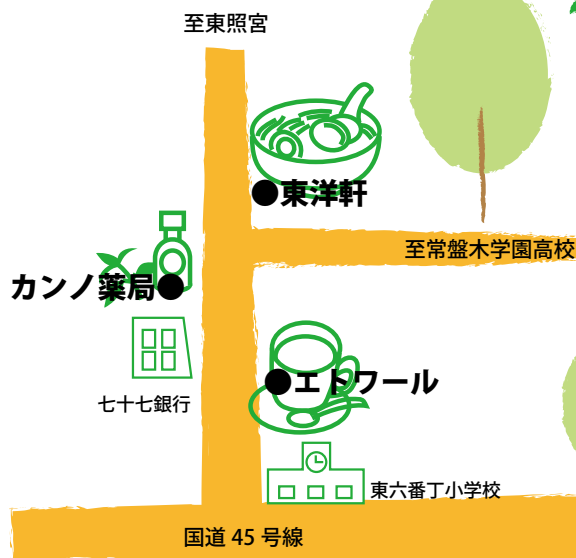


「なんのканのと言っても 薬はやっぱりカンノ薬局」

カンノ薬局は、今年で創業90周年を迎える宮町の老舗の薬局。周辺に大手ドラッグストアのチェーン店が進出する中でも、県内唯一の漢方薬とハーブティーの相談薬局という、独自の経営路線で強みを構築している。

4代目で管理薬剤師の菅野昌克さんは「お客様の症状や悩みに耳を傾ける、いわゆるカウンセリングを大事にしています。試飲もできるので気軽に相談してほしい」と言う。漢方薬と西洋薬を組み合わせた治療を行うことから、慢性病の相談が多いそうだ。

住所／宮町2丁目1-55 TEL／022-223-3522
営業時間／9時30分～20時(月～金)
9時30分～19時(土) 定休日／日曜日



今回は「こだわりの逸品を求めて」をテーマに、お店を選びました。まず、香り高いコーヒーで上質のひと時を提供するカフェ、体が本来持っている治癒力を高める漢方薬やハーブにこだわる薬局、そして震災後1週間で店を開け、温かいラーメンで人々を励まし続けたラーメン屋さん。気になるお店があれば、ぜひ足を運んでください。

今回の ご案内

今回のテーマは「国際通りを歩こう」です。え！国際通り？というあなた。お宮町の多彩な魅力に触れてみませんか！

- 日時／5月12日(土)午後3時 ●集合場所／七十七銀行宮町支店前
- 参加費／お1人様 1,500円 ●定員／6名

【ツアー内容】①うらいし洋装店 ②韓国家庭料理 百済
③ Bon Soir (ボンソワール)

《お申し込み》 仙台市青葉区まちづくり推進課(022-225-7211)までお申し込みください。なお、定員になり次第閉め切らせていただきます。

第6回 東六小の桜と音楽を愛でる会

音楽とふれあう♪お宮町

4/14(土)
11:00 ~ 15:20

今年で6回目をむかえる「東六小の桜と音楽を愛でる会」は、東六地区連合町内会に設けた地域コミュニティ委員会を中心に、地域諸団体や学校、PTA・商店街等の方々に組織した実行委員会で運営されています。

一昨年は春の大雪で体育館で開催され、昨年は東日本大震災で中止を余儀なくされましたが、今年は地域住民の輪と絆の醸成、犠牲者の鎮魂、復興への力の結集をキーワードとして盛大に開催する事に致しました。東六小のスクールバンドや五城中、常

盤木学園高校の吹奏楽部をはじめ、各地で活躍するプロ・アマのミュージシャンも多く出演して大いに盛り上げてくださる予定です。是非ご家族や友人共々ご来場の上、桜と音楽をお楽しみ戴きたいと思います。関係者一同、東六小の桜の下でお待ちしております。

東六地区連合町内会 会長
海老 一朗



樹齢 400 有余年のエドヒガンザクラ

第6回東六小の桜と音楽を愛でる会

会場：仙台市立東六番丁小学校 校庭

日時：平成 24 年 4 月 14 日（土）11:00 ~ 15:20

出演：11:00 ~ 11:30	和太鼓演奏連 千賀（宮城で活躍する和太鼓集団）	30 分
11:30 ~ 11:40	オープニングセレモニー 主催者挨拶	10 分
11:40 ~ 12:05	五城中 吹奏楽部 『さくらさくら 合唱』	25 分
12:10 ~ 12:35	MEMORY-3（地元で活躍する音楽家によるフルート&ピアノ）	25 分
12:35 ~ 12:45	休憩	
12:45 ~ 13:20	ダイナミクス（ベンチャーズならお任せロックバンド）	35 分
13:25 ~ 13:55	東六小 スクールバンド	30 分
14:00 ~ 14:30	常盤木学園高校 吹奏楽部	30 分
14:35 ~ 15:20	スウィングクロス（在仙 プロのジャズメン）	45 分
15:20	閉会宣言	

●以上演奏順、開始時間の目安ですが、当日変更や前後する場合がございます。

当日は地域内の
美味しいお店が
多数出店します

- ♪雨天の場合は体育館で開催します。
- ♪荒天の場合は中止する場合があります。
- ♪学校の敷地内は禁酒・禁煙です。
- ♪駐車場はありませんので周辺駐車場をご利用下さい。
- ♪野外での開催のため各自防寒具をご用意下さい。



本事業は、東六地区連合町内会、関係諸団体、地域の協力企業、宮町商店街などの広告収入で運営しております。

主催：東六地区連合町内会 共催：仙台市立東六番丁小学校



東六小のきつね石

ねーねー 浄圓房さん、
私たちが通う東六小学校
で今年も桜と音楽を愛で
る会が樹齢400年のエ
ドヒガンザクラの下で行
われます。この桜の下に
穴の開いた大きな石や、
校門のそばに大きな丸い
石があるけど、何の石なの？



はいはい 承知した。 承応3年
(1654年) 伊達二代藩主忠宗公
が日光東照宮に敬意を表して造営
したのが宮町通りの北に鎮座する
今の東照宮。その起工のときにこ

の地に仮宮を造営し御霊を安置し、ここの桜
の木のもとから現在地へ遷宮するという形を
とったのだという跡なんじゃ。その折にはこ
のサクラはもう咲いていたという話じゃ。

その後この地は荒れ果てた。草生い茂り杉
木立高く、昼なお暗い場所、自然狐狸の住
処となった。この道端に大きな丸い石があっ
た。「雨夜なのに火が燃えている」だの、こ
の石に夜など腰をかけたり、通行人がこの石
に小便でもかけようものなら、たちどころに
狐に化かされて方角がわからなくなったり、
泥田に入れられたりしたという。

またここに「いろは狐」と呼ばれた狐がい
たそう。な。「いろは」の文字を染め抜いた粋
な着物に「いろは」の印の入った提灯を下げ
た美しい女に化け、通行人を化かしたものだ
という話もある。

へー、そんなおとぎ話のよ

うなお話があるんだね。

そうなんじゃ。このような



話はもともと東照宮を建
立するために作られた聖
地に対する「畏れ」が、
やがて怪現象を起こす
「恐れ」へと変化し、怪

談が語られるようになったのだろう。長
らくその所在が不明であった伝説中に語られ
ている化け石（あるいは狐石）は校門のそば
にある丸い石で、現在の東六小学校校庭の桜

の木の下に石がゴ
ロリと転がってお
るが後になって土
中から発見された
石なんじゃ。真ん中
に丸い穴がポツカ
リ空いている石は
もしかしたらお仮
宮の礎石だったの
かもしれないのう。

本当はこの街の大切な宝
物なんですわね。



その通りじゃ、あ

の丸い大きな石や、
穴の開いた石に腰を
かけたり悪さをしたら、
狐に化かされたり、夜火
を見せられるかもしれん
のう。



『浄圓房さんとは』

延寿院境内の浄圓堂におられる「浄圓房大
権現」である。

浄圓房さんは東照宮の別当にいた僧侶で、
羽黒の行者となり、韋駄天のごとき走力を得、
麦飯を釜にかけて、それが炊きあがらないう
ちに羽の羽黒山へ往復したという。

参考 『滅び行く伝説口碑を索ねて』(T15・富田
広重・富田文庫)

『仙台市史』

(文・取材／千葉富士男 イラスト／がんじ)

おしらせ

東照宮春祭り

あそびにきてねー



4月14日(土) …お神楽の奉納／演芸とバラエティ

4月15日(日) …お神楽の奉納／カラオケ大会

◎当日は70ほどの出店が立ち並びます。

●公共交通機関をご利用ください。

学校行事予定 (2012 年 4 ～ 6 月)

* なお、3 月上旬での予定のため、変更になる可能性もあります。ご了承下さい

◇東六番丁小学校		
4 月 9 日 (月)	8:45 ～/ 13:00 ～	着任披露式・始業式/入学式
4 月 14 日 (土)	10:30 ～ 15:30	第 6 回東六小の桜と音楽を愛でる会
4 月 21 日 (土)	8:45 ～ 12:20	授業参観・懇談会・PTA 総会・講演会
5 月 26 日 (土)	9:00 ～ 14:00	運動会
5 月 30 日 (水)	12:30 ～ 15:45	学校評議員会・学校関係者評価委員会
6 月 22 日 (金)	8:45 ～ 15:10	東六の日・ドレミの森集会・懇談会

◇北六番丁小学校		
4 月 9 日 (月)	13:00 ～ 13:45	入学式
4 月 21 日 (土)	8:50 ～ 12:00	授業参観・懇談会・PTA 総会
4 月 27 日 (金)	8:25 ～	春の遠足
5 月 11 日 (金)	9:00 ～ 14:00	故郷復興プロジェクト
6 月 3 日 (土)	8:30 ～	北六学区民大運動会
6 月 13 日 (水) ～ 14 日 (木)		修学旅行
6 月 20 日 (水) ～ 21 日 (木)		野外活動

◇五城中学校		
4 月 10 日 (火)	13:30 ～	入学式
4 月 25 日 (水)	12:30 ～/ 13:30 ～/ 14:50 ～	教育課程説明会/父母教師会総会 /学年総会・学級懇談
5 月 9 日 (水)	8:50 ～終日	授業参観・部活動参観
5 月 16 日 (水)		1 年校外学習
5 月 16 日 (水) ～ 18 日 (金)		3 年修学旅行
5 月 22 日 (火) ～ 24 日 (木)		2 年野外活動
6 月 9 日 (土) ～ 11 日 (月)		市中総体
6 月 23 日 (土)	8:50 ～終日	休日授業参観

* 5 のつく日授業参観…4/10 (水)、5/15 日 (火)、5/25 (金) 6/5 (火)

◇常盤木学園高等学校		
4 月 10 日 (火)		入学式
4 月 28 日 (土)		PTA 総会
5 月 1 日 (火)		運動会
5 月 21 日 (月)		創立記念日
6 月 2 日 (土) ～ 4 日 (月)		高校総体
6 月 13 日 (水) ～ 16 日 (土)		1 学期中間試験

SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて

アエル株式会社 様 仙台市青葉区中央 1 丁目 3 - 1 TEL : 022 - 723 - 8000	八丁目皮膚科 クリニック 様 仙台市青葉区錦町 2 丁目 1-48 TEL : 022 - 223 - 1795	積水ハウス(株)仙台支社 様 仙台市青葉区一番町 4 丁目 6-1 仙台第一生命タワービルディング 5F TEL : 022 - 722 - 3640
---	---	---



この情報誌は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

当編集委員で毎日新聞仙台支局長の三岡さんが転勤なされた。記事の書き方・文章講座の開催、「小さな握り飯」と言う東六地区を切り口とした 10 回連載の震災の記事は本物の記者魂を見た想いがしたし、宮町で街を肴に皆で呑んだ事は数知れず大変思い出深い。宮町でまた、お逢いしましょう。

(千葉富士男)

今回初めてお宮町ツアー参加しました。普段買い物や食事しているお店ですが、店主様に商品やメニューについてのこだわりなど聞くことができ参考になりました。

(木村くみ)

自分は県北で農産物に関わる仕事を生業としており、今までは畑の香りで季節を先取りしていた気がするのですが、おみやげやプレスに関わって感性が磨かれたのか、宮町の雰囲気からも季節を感じ始めた気がします。

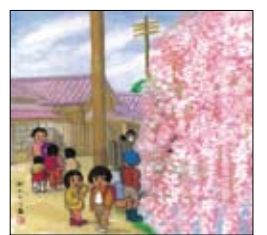
(佐藤正則)

宮町はもとより、仙台を支えてきた水と川の歴史に出会いました。

(がんじー)

もに、昭和初期の風景を復元してみました。場所は現在の北六番丁小学校正門前です。作画に際し、河原町にある七郷堀取材してきました。

『桜川・北六番丁
その昔』
梅田川と平行して北六番丁に川が流れていたのをご存知ですか。
今は無き四谷用水(桜川)ととも



新春号の表紙絵について

編集局からのお願い

お宮町の昔の写真や逸話など、この町の情報を募集いたしております。情報をお持ちの方、取材の要望などがございましたら、右の宛先までご連絡ください。

編集メンバー

主筆/海老一郎 編集長/千葉富士男
 編集委員/加藤久枝、鹿野恵美子、加納実、菊池ゆう子、木村くみ、佐藤広行、佐藤正則、佐藤靖、永田良治、南部正人、針生一平、針生英一
 針生奏子、藤本保之、松本匠亮、三岡昭博、(50 音順)
 歴史顧問/伊勢民夫 アドバイザー/内海睦夫 イラスト/がんじー デザイン/花坂政裕、星瑞枝
 協力/東北工業大学 ライフデザイン学部

お！宮町地域情報編集局

Tel : 022-225-7211(代) Email : ohmiyamachi@gmail.com
 〒980 - 8701
 仙台市青葉区上杉 1 - 5 - 1 青葉区まちづくり推進課内